

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7	公共交通利用環境改善事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ			
担当部課名	企画部交通政策課	事業実施(予定)年度	H24 ~ R3 年度	人に優しい交通手段の確保			
事業内容	<p>・【ノンステップバス導入補助】利用者の利便性の向上を図るため、バス事業者が乗降性に優れたノンステップバスを導入する際の購入費を補助する。</p> <p>・【多言語対応機器導入補助】外国人観光客等がバス移動する際の利便性の向上を図るため、バス事業者が多言語に対応した車内案内表示器を導入する際の購入費、バス協会が多言語に対応したバス停標識を導入する際の購入費を補助する。</p> <p>・【公共交通利用促進に関する広報活動】路線バス利用者数の減少傾向に歯止めをかけるため、ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動を行う。</p> <p>・【バスレーン拡充等検討調査業務】バスによる移動時間(運行時間)を短縮し、公共交通機関の利便性向上を図るため、基幹バス導入に向けたバスレーンの拡充に係る調査・検討を行う。今年度は、瑞慶覧-伊佐間のバスレーン延長の効果・影響調査、コザまでの新規バスレーン導入に向けた検討、関係機関との協議を実施する。</p> <p>・【公共交通利用促進に向けた調査業務】バスの利便性向上に繋がる事業者の新たな取り組みを促すため、新規ダイヤ、新規路線(既存路線の増便や時間修正を含む)の設定に向けた調査・検討を行う。今年度は、「那覇空港の輸送力強化」や「てだこ浦西駅における結節強化」を図るため、実証実験を実施する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	247,486		252,679		127,933
		(b) 予算現額	233,320		252,679		107,782
		(c) 増減額(b-a)	▲ 14,166		0		▲ 20,151
		(d) 前年度繰越額	0		0		0
		A. 計(b+d)	233,320		252,679		107,782
		B. 執行済額	228,514		237,552		107,595
		うち交付金充当額	182,811		190,041		86,076
		C. 次年度繰越額	0		0		0
		執行率(%) (B/A)	97.9%		94.0%		99.8%
予算の状況の説明	<p>・令和2年度当初予算は令和元年度に比べ124,746千円減額となっており、主にノンステップバス導入支援台数、多言語対応機器導入支援台数、広報業務委託料が減少したことによるものである。</p> <p>・20,151千円の減額補正を行っており、主な理由は、コロナの影響に伴うノンステップバス補助台数減や調査業務の取り止め等である。</p> <p>・執行率は99.8%であり、概ね計画的に執行できた。</p>						

R1活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①【ノンステップバス導入補助】 ノンステップバス導入支援台数	目標	17台	4台	4台	1台
	実績	17台	3台	3台	—
②【多言語対応機器導入補助】 ②-1車内案内表示器導入支援台数 ②-2バス停標識導入支援基数	目標	車内表示器 230台	車内表示器 50台 バス停 7基	車内表示器 30台 バス停 9基	車内表示器 25台 バス停 3基
	実績	車内表示器292台 バス停 3基	車内表示器 50台 バス停 3基	車内表示器 30台 バス停 6基	車内表示器 25台 バス停 3基
③【公共交通利用促進に関する広報活動】 ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	目標			ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施	ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施
	実績			実施済	実施済
④【バスレーン拡充等検討調査業務】 ・バスレーン延長の効果・影響調査 ・関係機関との協議等の実施	目標			・県民アンケートの実施 ・関係機関との協議等の実施	新規バスレーン導入に向けた方針決定
	実績			実施済	協議会において方針を議論
⑤【公共交通利用促進に向けた調査業務】 新規ダイヤ、新規路線(既存路線の増便や時間修正を含む)の設定に向けた調査・検討	目標			・新規ダイヤ、新規路線(既存路線の増便や時間修正を含む)の設定に向けた調査・検討	実証実験の実施と効果の検証
	実績			実施済	実施済
達成状況説明	<p>①ノンステップバス導入支援台数については、補助事業者の計画変更により年度当初の単年度目標台数の導入はできなかったが、平成24年度からの累計台数としては目標台数に達している。</p> <p>②-1 多言語対応機器(車内案内表示器)については、目標に設定した台数の導入支援を行った。</p> <p>②-2 多言語対応機器(バス停標識)については、目標3基に対して3基を実施し目標を達成した。全体計画としては順調に整備が進んでおり、R3までに全ての対象バス停(設置不可箇所以外)に設置できる見込みである。</p> <p>③ラジオCM246本、新聞広告2回掲載などを実施した。</p> <p>④伊佐以北のバスレーン導入(県道宜野湾北中城線・国道330号)の概略設計を行い、物理的な導入可能性について、平面図面を元に精査した。</p> <p>⑤公共交通利用促進に向け、モノレールの延長を期に、てだこ浦西駅～沖国大～琉大を結ぶ「キャンパスバス」の実証実験を行い、自動化に向けた課題等を把握・整理した。</p>				

活動目標
(指標)
及び達成状況

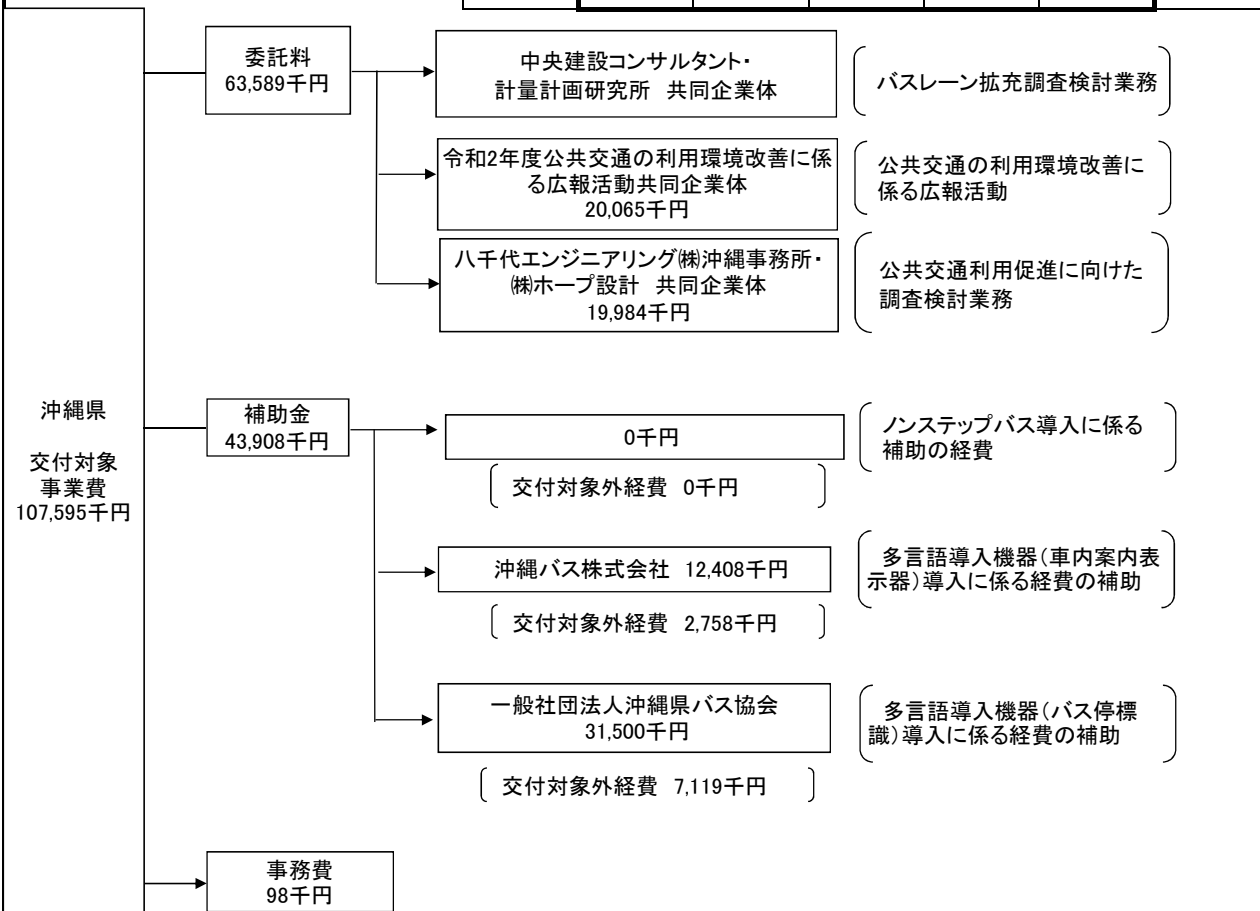
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R4年度)
	①【ノンステップバス導入補助】 バス利用者における導入したノンステップバスの満足度49%以上	目標		アンケート実施	49%	49%	
		実績		56.5%	45.8%	47.1%	
	②【多言語対応機器導入補助】 外国人観光客における県内路線バスの満足度71.9%以上	目標		アンケート実施	71.9%	71.9%	
		実績		71.9%	68.8%	73.9%	
	③【公共交通利用促進に関する広報活動】 県民の路線バス等利用意向40%以上	目標		30%以上	40%以上	40%以上	
		実績		47.7%	48.8%	42.8%	
	④【バスレーン拡充等検討調査業務】 瑞慶覧(北中城村)ー伊佐(宜野湾市)間のバスの移動時間(運行時間)の短縮時間設定	目標			時間短縮 2分	時間設定	
		実績			時間短縮 1.1分	時短効果 上り:2分 下り:4分	
	⑤【公共交通利用促進に向けた調査業務】 各種実証実験 1件	目標			計画策定	1件	
		実績			計画策定	1件	
進捗状況説明	<p>①ノンステップバス導入支援により県内におけるノンステップバス導入率が向上して定着したことから満足度は伸び悩んでいるが、概ね目標値に達している。</p> <p>②-1多言語対応機器(車内案内表示器)導入支援により導入率は向上し、外国人の満足度も目標を達成している。</p> <p>②-2多言語対応機器(バス停標識)については、目標3基に対して3基を実施し目標を達成した。</p> <p>③広報活動を通じて公共交通の利用意向の醸成を図ることができた。</p> <p>④バスレーン延長拡充について、シミュレーションを行った結果、瑞慶覧-伊佐間の短縮効果は、上りで2分、下りで4分と試算され、区間の時短設定を行った。</p> <p>⑤公共交通利用促進に向け、てだこ浦西駅〜沖国大〜琉大を結ぶ「キャンパスバス」の実証実験1件を実施した。</p>						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①ノンステップバス導入事業実施にあたっては、多額の自己負担を伴うことから、バス事業者における経営状況を踏まえた車両更新計画を注視する必要がある。ノンステップバス導入事業については、事業実施前の平成23年度の9台から令和2年度末には218台へと増加し、移動利便性の環境整備が進むにつれ、さらに、導入路線を拡大してほしい等利用者からの意見が聞かれるようになった。</p> <p>②-1多言語対応機器(車内案内表示器)についても、バス事業者の自己負担が伴うことから、計画的な導入を進めていく必要がある。</p> <p>②-2多言語対応機器(バス停標識)については、歩道空間の制約等により、上屋等の設置が困難な箇所がある。</p> <p>③広報事業については、更なるバスの利用促進を図るよう取り組む必要がある。</p> <p>④バスレーン拡充については、道路空間の一部を占有することから、さらなる延長については、県民の合意形成が必要である。</p> <p>⑤コロナウイルス感染拡大防止のため、大学がオンライン講義となった影響で、利用者数は伸びなかった。</p>	<p>①ノンステップバス導入後の運用面について、引き続き、バス事業者等とサービス活性化に向けた意見交換を行い、運用面における現状や課題等の共通認識を図り、更なるサービスの改善に繋げる必要がある。</p> <p>②-1多言語対応機器(車内案内表示器)の未導入路線についても、計画的な導入を進めることで、外国人観光客の利便性を高め、満足度の向上に繋げる。</p> <p>②-2多言語対応機器(バス停標識)については、設置可能な場所についての精査した結果、これ以上の設置は不可能だと判断した。</p> <p>③車保有者の公共交通への利用転換を促進するような取り組みを検討する。</p> <p>④バスレーン拡充については、バスレーン延長後の交通流調査・分析を行い、更なる延長に向けて取り組む必要がある。</p> <p>⑤大学生が自家用車を保有する前に、公共交通の利便性を伝える必要があるため、オープンキャンパス等を活用し、次年度の新入生へのモビリティ・マネジメントを行うことで、経年的に大学生の公共交通機関への行動変容を図る必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
	<p>①ノンステップバス導入後の運用面について、引き続き、バス事業者等とサービス活性化に向けた意見交換を行い、現状や課題等の共通認識を図り、更なるサービスの改善に繋げる。</p> <p>②-1多言語対応機器(車内案内表示器)の未導入路線についても、導入促進を図り、外国人観光客の路線バス利用におけるサービス向上に取り組む。</p> <p>②-2多言語対応機器(バス停標識)については、設置可能な場所についての精査を進めた結果、これ以上の設置は不可能だと判断した。</p> <p>③車利用者の公共交通への転換に効果のあるテーマを選定し、訴求する取組を検討する。</p> <p>④バスレーン拡充については、基幹バスのサービス水準の設定等を行い、水準達成に必要なバスレーン延長について県民の合意形成を図っていく。</p> <p>⑤公共交通利用促進調査については、大学側と協力し、利用者数の増に繋げるとともに、大学生の公共交通機関への行動変容を促すための取組に取り組む。</p>	

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
117,472	107,595	86,076	21,519	0	0	9,877



評価	点検項目	評価に関する説明
○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は、公募型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ・費目や用途については、事業目的の観点から必要なものであるか、完了検査、額の確定時において、支出等に関する証拠類を確認し、適正であった。
○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

資金の流れ、費目・用途の点検評価

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	203	都市モノレール多言語化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ			
担当部課名	土木建築部都市計画・モノレール課	事業実施(予定)年度	H27 ~ R3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人に優しい交通手段の確保		
事業内容	沖縄都市モノレールの利便性を向上し、国内外観光客のモノレール利用促進を図るため、①令和元年度に更新した延長区間を含むガイドブックの時点修正及び増刷を行うとともに、②ガイドブックと連動した多言語化による沿線の詳細情報を提供するポータルサイト等の更新を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】		H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,454		27,988	0	6,089
		(b) 予算現額	4,454		27,988	0	6,089
		(c) 増減額(b-a)	0		0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0		0	10,366	0
		A. 計(b+d)	4,454		27,988	10,366	6,089
	B. 執行済額		4,379		17,140	10,219	1,650
	うち交付金充当額		3,503		13,712	8,175	1,320
	C. 次年度繰越額		0		10,366	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.3%		61.2%	98.6%	27.1%
予算の状況の説明		・令和2年度予算は、ガイドブック増刷に係る委託料を計上しており、令和元年度に比べ13,692千円減額となっているのは、案内サイン延長区間新規設置工事を減じたことによるものである。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、既存の5カ国語のガイドブック増刷から、ポルトガル語及びスペイン語の翻訳発行に変更したことに加え、入札残により執行率は27.1%となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		進捗状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	①ガイドブックの更新作業 1.5万部 ②ポータルサイトの更新		・15.4万部(ガイドブック) ・ウェブサイトの更新	・12.5万部(ガイドブック) ・ウェブサイトの更新	・13.4万部(ガイドブック) ・ポータルサイトの更新 ・案内サイン既存更新、延長区間新規設置	・1.5万部(ガイドブック) ・ポータルサイトの更新	
達成状況説明		・新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少した既存の5言語(日本語、英語、繁体字、簡体字、韓国語)の増刷から、世界のウチナンチュ大会等で需要が見込まれる2言語(ポルトガル語、スペイン語)の新規翻訳発行に変更したため、目標を下回った。 (1.5万部/5言語 → 6千部/2言語) ・令和3年度(最終年度)はポータルサイトの時点修正のほか、内容充実を図るため掲載内容の更新を行う予定であるため、その更新に併せてポルトガル語、スペイン語の掲載も行う。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により、当該ガイドブックのあり方について検証する。		目標	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
			実績	88%	-	-	-
	【H29以前の成果目標】モノレール乗客数(国籍問わず)		目標	44,807人/日			
	44,807人/日 以上		実績	49,716人/日			
進捗状況説明		年度末にアンケート調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により海外からの入国制限措置が取られ、外国人観光客がいないため、調査実施を見送った。					

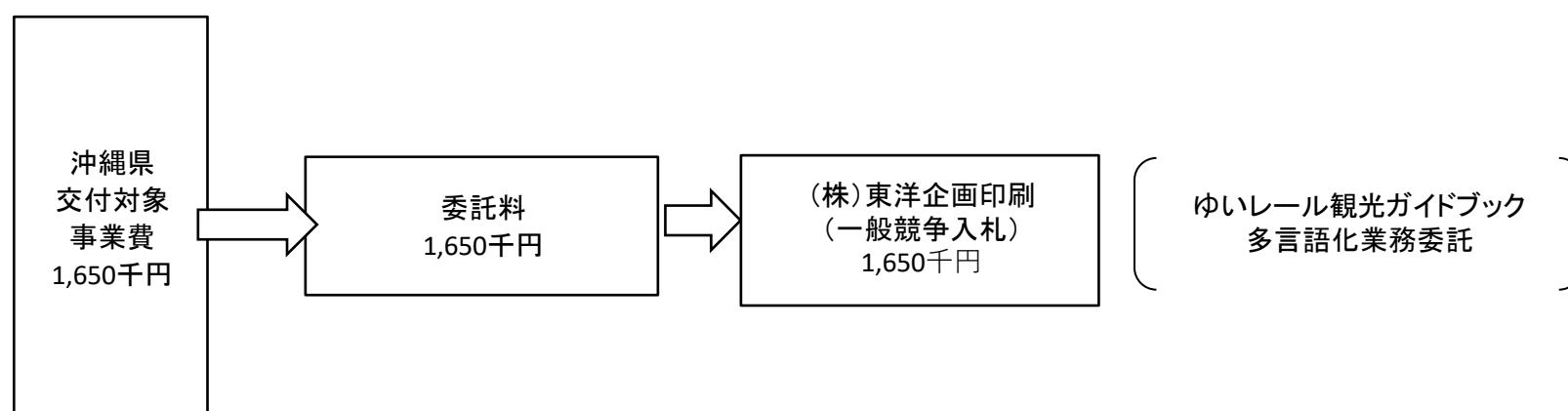
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響を受け、国内外の観光客の減により、効果検証が実施できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 外国人観光客受け入れの再開を待って調査を実施したい。 また、これまでの聞き取りでの調査方法を見直し、アンケート回答率の向上及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、スマートフォンから時間を問わず手軽に回答できるWebアンケート形式にする等、調査方法の検討を行う。

今後の取り組み方針

モノレールの乗客数も大幅に減少したことから、今後沖縄都市モノレール(株)と連携し、積極的な利用促進に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
1,650	1,650	1,320	330	0	0	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ガイドブック更新業務委託については、一般競争入札によって選定しており、妥当であったと考える。 費目、用途については、事業目的の観点から必要なものを実施し、完了後の検査を実施することで、支出内容の確認を行っている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	